

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和5年8月】

■調査概要（データ対象期間：令和5年8月1日～8月31日）

○調査期間：令和5年8月31日～令和5年9月22日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業18企業、製造業18企業、卸売業11企業、小売業20企業

飲食業14企業、サービス業36企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計117企業>

○調査項目：8月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはプラス幅が拡大し、水準DIはマイナス幅が縮小した

1. 業況判断

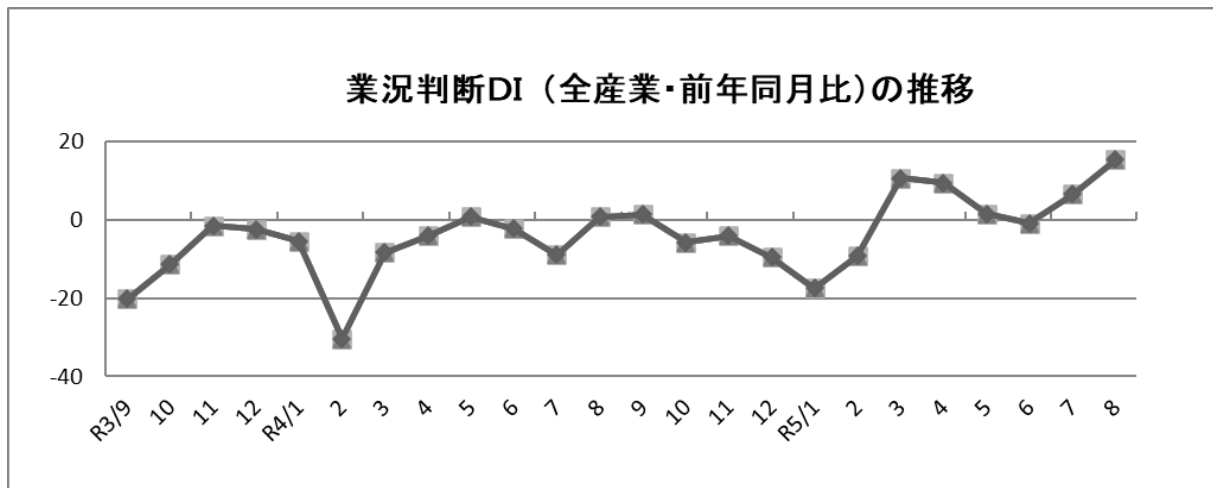
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(6.6)より8.8ポイント上昇し、15.4となった。業種別では、飲食業・製造業・サービス業はプラス幅が拡大し、卸売業はプラスからマイナスへ転じた。小売業はマイナスからプラスに転じ、建設業はマイナス幅が縮小した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲6.6)より4.0ポイント上昇し、▲2.6になった。業種別では、飲食業はプラス幅が拡大し、卸売業はプラスからマイナスに転じた。小売業はマイナスからプラスへ転じ、建設業はマイナス幅が縮小した。製造業・サービス業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	31.6 (24.8)	52.2 (57.0)	16.2 (18.2)	↑ 15.4 (6.6)	22.2 (17.4)	53.0 (58.6)	24.8 (24.0)	↑ ▲ 2.6 (▲ 6.6)
建設業	5.6 (0.0)	66.6 (70.6)	27.8 (29.4)	↑ ▲ 22.2 (▲ 29.4)	0.0 (0.0)	72.2 (70.6)	27.8 (29.4)	↑ ▲ 27.8 (▲ 29.4)
製造業	44.4 (31.6)	33.4 (52.6)	22.2 (15.8)	↑ 22.2 (15.8)	22.2 (15.8)	44.5 (57.9)	33.3 (26.3)	↓ ▲ 11.1 (▲ 10.5)
卸売業	27.3 (25.0)	36.3 (66.7)	36.4 (8.3)	↓ ▲ 9.1 (16.7)	27.3 (16.7)	36.3 (75.0)	36.4 (8.3)	↓ ▲ 9.1 (8.4)
小売業	35.0 (20.8)	55.0 (50.0)	10.0 (29.2)	↑ 25.0 (▲ 8.4)	30.0 (20.8)	45.0 (45.9)	25.0 (33.3)	↑ 5.0 (▲ 12.5)
飲食業	78.6 (61.5)	14.3 (30.8)	7.1 (7.7)	↑ 71.5 (53.8)	64.3 (46.2)	28.6 (30.7)	7.1 (23.1)	↑ 57.2 (23.1)
サービス業	19.4 (22.2)	72.3 (63.9)	8.3 (13.9)	↑ 11.1 (8.3)	11.1 (13.9)	66.7 (66.7)	22.2 (19.4)	↓ ▲ 11.1 (▲ 5.5)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

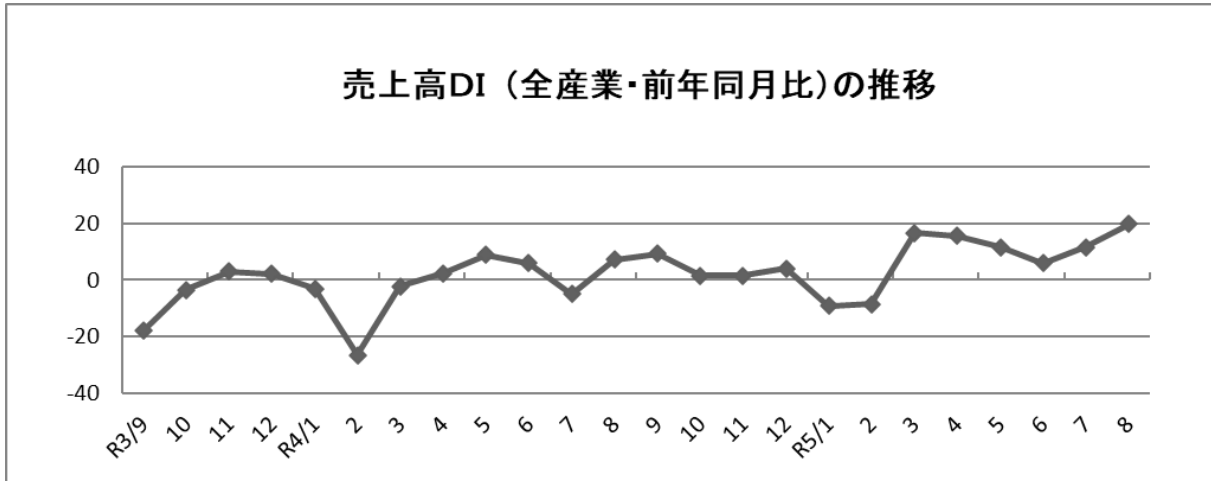


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（11.6）より8.1ポイント上昇して、19.7となった。業種別に見ると、小売業・サービス業・飲食業・卸売業はプラス幅が拡大した。製造業はプラス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全体	7.2	9.4	1.6	1.6	4.0	▲9.2	▲8.4	16.6	15.5	11.7	6.0	11.6	19.7
建設業	▲10.5	▲10.5	▲20.0	5.0	▲25.0	▲15.8	▲27.7	▲10.6	▲29.4	▲31.5	0.0	▲23.5	▲27.7
製造業	5.9	15.8	0.0	▲5.0	11.1	▲6	▲11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5
卸売業	33.4	58.3	9	27.3	16.7	22.2	0.0	33.3	▲12.5	0	12.5	8.3	9
小売業	▲9.5	4.2	5	4.8	4.2	▲39.2	▲13.6	39.2	4.8	30.4	▲4.5	8.3	40.0
飲食業	33.4	20.0	30.8	▲6.6	7.2	23.1	▲23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3
サービス業	7.5	0.0	0.0	▲2.7	10.5	▲8	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0

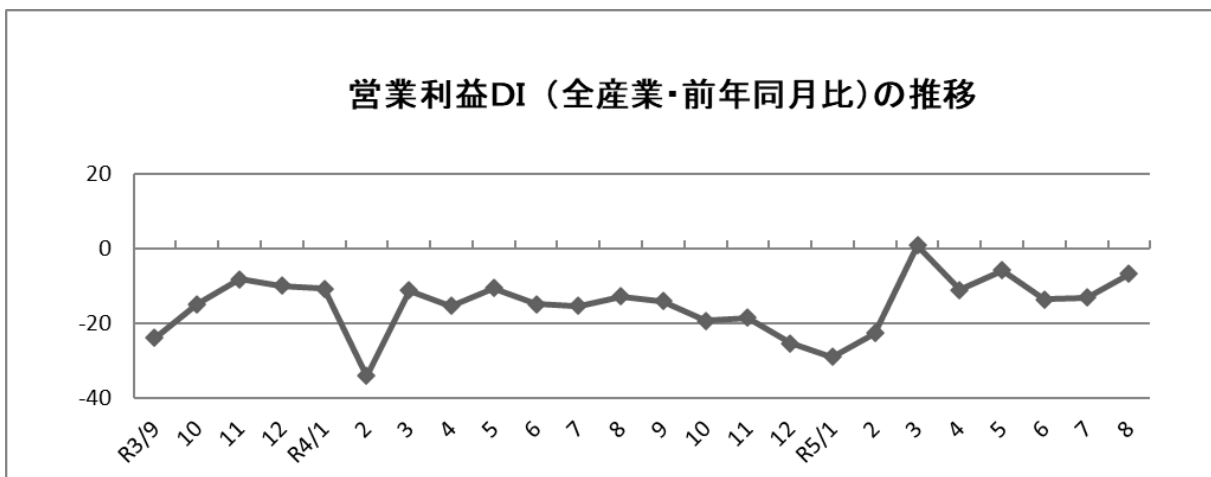


3. 営業利益DI（前年同月比）

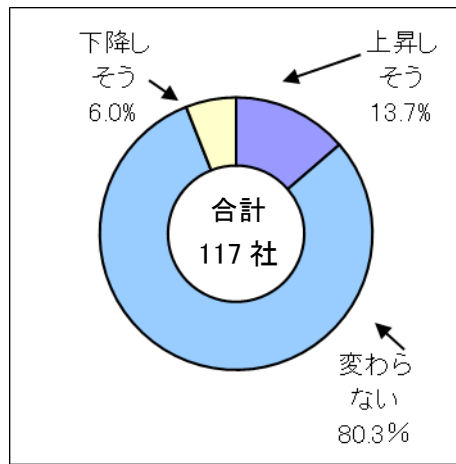
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲13.2）より6.4ポイント上昇して、▲6.8となった。卸売業は0からマイナスへ転じ、飲食業・小売業・サービス業はマイナスからプラスへ転じた。建設業・製造業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全体	▲12.9	▲14.1	▲19.4	▲18.5	▲25.4	▲29.1	▲22.7	0.8	▲11.2	▲5.9	▲13.6	▲13.2	▲6.8
建設業	▲21.0	▲26.3	▲15.0	▲10.0	▲45.0	▲21.1	▲33.3	▲15.8	▲35.3	▲36.8	▲20.0	▲29.4	▲38.8
製造業	▲23.6	▲36.8	▲36.9	▲35.0	▲61.1	▲50.0	▲35.3	▲10.0	▲10.0	▲16.7	▲15.8	▲26.3	▲33.4
卸売業	25.0	25.0	▲18.2	▲18.2	▲25.0	▲11.1	▲23.1	11.1	▲25.0	▲40.0	0.0	0.0	▲18.2
小売業	▲42.9	▲4.2	▲28.6	▲9.6	▲12.5	▲52.2	▲13.7	17.4	▲23.8	26.1	▲18.2	▲12.5	5.0
飲食業	▲13.3	▲33.3	▲30.8	▲26.7	▲28.6	▲30.8	▲38.4	▲22.2	▲16.7	0.0	▲16.6	▲7.7	29
サービス業	0.0	▲7.7	▲5.0	▲16	▲5.2	▲13.2	▲11.1	7.5	10.5	2.7	▲8.1	▲5.6	5.5



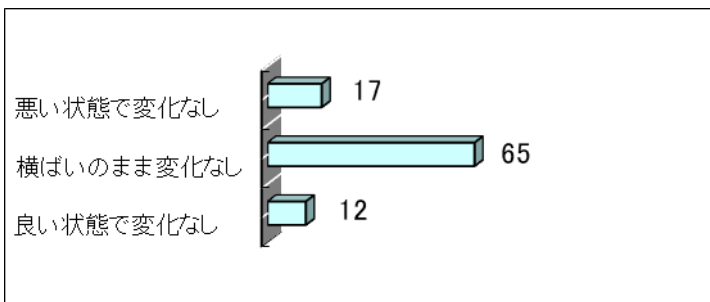
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和5年9月～令和5年11月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.4ポイント減り13.7%、「下降しそう」が2.3ポイント減り6.0%となった。業種別の見通しDIは建設業(5.5)、製造業(16.6)、卸売業(▲9.1)、小売業(0.0)、飲食業(7.2)、サービス業(13.9)であった。

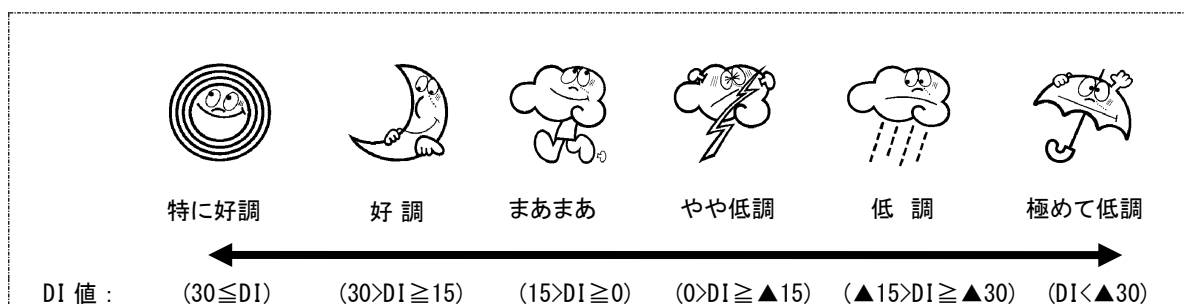
➡「上昇しそう」では「受注が増えそうのため」(建設業)「秋期は繁忙期のため」「新規案件の引き合いが増加傾向のため」「受注量が増えたため」(製造業)「旅行客が増えそうのため」「来客数、購入単価共に少し上昇しているため」(小売業)「観光シーズンを迎え更なる観光客の流入が見込まれるため」「秋の行楽シーズンに突入するため」(飲食業)「10月以降の受注案件があるため」「11月まで予約が好調なため」「普通の生活に戻ると予想されるため」「インバウンド回復のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「期末棚卸調整のため」(製造業)「暑さによる野菜高騰のため」「人材不足、人件費増加の懸念があるため」(卸売業)「残暑が厳しく人の動きがないため」(小売業)「お盆や夏休みが終わったため」(飲食業)といった声が寄せられた。

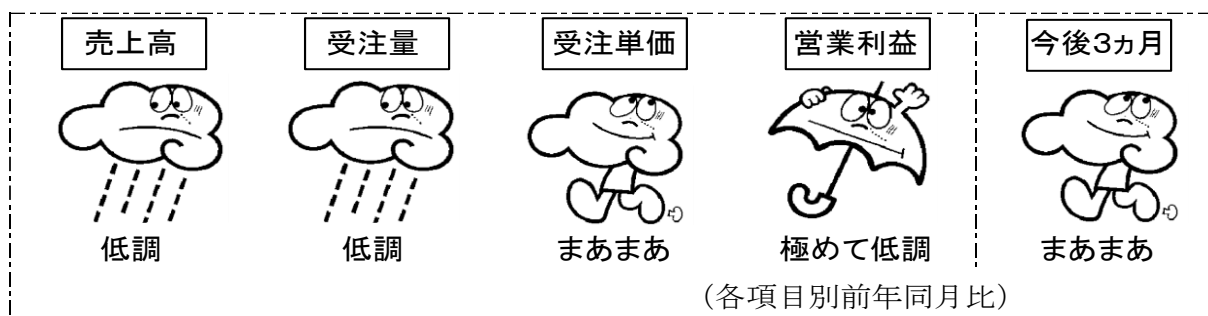


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7
受注量	▲ 5.3	▲ 15.8	10.0	0.0	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.5	▲ 21.1	▲ 15.0	▲ 35.3	▲ 16.7
受注単価	▲ 5.3	▲ 5.2	▲ 15.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.3	▲ 16.7	▲ 5.2	0.0	▲ 10.5	0.0	▲ 5.9	5.6
営業利益	▲ 21.0	▲ 26.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8
見通し	0.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 5.5	0.0	5.9	5.3	5.0	5.9	5.5

<経営者の目・見方・e t c>

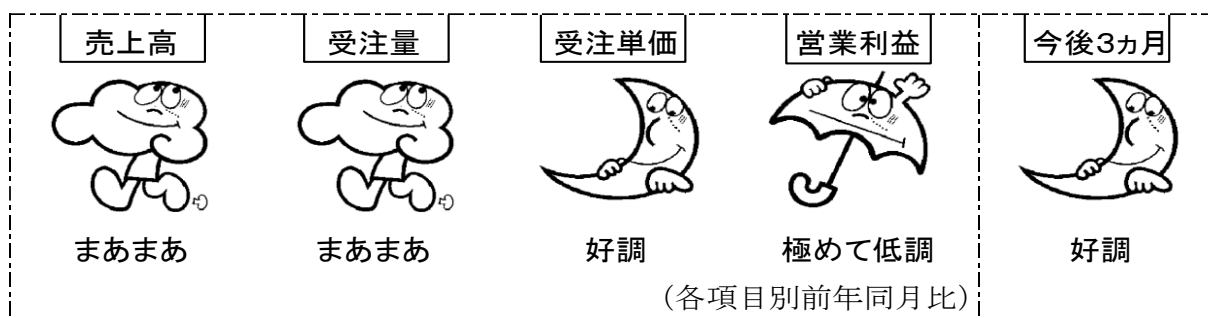
鉄工

・同業者間で工事受注量にばらつきが見られるようになってきた。

土木工事

・インボイス制度が10月より開始予定ということで事務が煩雑になっている。

2. 製造業








【項目別DIの推移】

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	5.9	15.8	0.0	▲ 5.0	11.1	▲ 5.5	▲ 11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5
受注量	▲ 11.7	15.8	▲ 15.8	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 27.8	▲ 11.7	▲ 5.0	5.0	5.6	5.3	▲ 5.3	5.5
受注単価	11.7	15.8	21.1	20.0	11.1	16.6	23.5	10.0	25.0	16.6	21.0	26.3	16.7
営業利益	▲ 23.6	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 35.0	▲ 61.1	▲ 50.0	▲ 35.3	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4
見通し	5.8	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 27.7	22.2	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0	5.5	▲ 15.8	▲ 5.2	16.6

<経営者の目・見方・e t c>

- 印刷
 - ・松本エリアでは欧米の外国人観光客をかなり多く見ている。円安の影響を含めて長期滞在観光している富裕層ではないかと思われる。
- 精密機器組立
 - ・人手不足が深刻である。賃上げ、外国人材用を検討している。
- 小型情報機器組立
 - ・前向きな話はあるが目先は部品の入りが悪い。
- 金属塗装
 - ・中国の景況が心配である。

3. 卸売業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
まあまあ	低調	好調	低調	やや低調

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2	0.0	33.3	▲ 12.5	0.0	12.5	8.3	9.1
販売客数	16.7	25.0	9.1	▲ 9.1	0.0	0.0	▲ 7.7	11.1	▲ 25.0	▲ 10.0	12.5	▲ 8.4	▲ 18.2
販売客単価	41.7	50.0	36.4	18.2	8.4	22.2	0.0	33.3	0.0	10.0	12.5	25.0	27.3
営業利益	25.0	25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 23.1	11.1	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 18.2
見通し	▲ 16.7	0.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7	0.0	12.5	▲ 10.0	0.0	0.0	▲ 9.1

<経営者の目・見方・e t c>

- 魚介類
 - ・飲食店での宴会が個人個人のグループでの開催に留まっており、会社全体等で開催する宴会がなくなっている。法人需要が復活してほしい。
- 自転車
 - ・業界の動向は低調である。ヘルメットは入荷しだしたので、需要が増えればと考える。
- 土産品
 - ・観光業にとって夏のトップシーズンが非常に好調であった。お客様の求めている商品開発に力を入れていきたい。
- 金属製品
 - ・建築関連は依然大型案件の話が多く、中小クラスが行う物件は少ない。自動車や半導体関連の回復も未だ不透明である。
- 木材・建材
 - ・建設業、木材資材販売業での倒産が増加している。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲9.5	4.2	4.8	4.8	4.2	▲39.2	▲13.6	39.2	4.8	30.4	▲4.5	8.3	40.0
販売客数	▲9.6	4.1	0.0	▲4.8	▲4.1	▲39.1	0.0	4.4	▲9.5	17.4	▲9.1	4.1	20.0
販売客単価	4.8	0.0	▲4.8	0.0	12.5	▲26.1	13.6	0.0	▲19.1	26.1	9.1	25.0	15.0
営業利益	▲42.9	▲4.2	▲28.6	▲9.6	▲12.5	▲52.2	▲13.7	17.4	▲23.8	26.1	▲18.2	▲12.5	5.0
見通し	▲9.5	▲4.2	▲4.7	9.5	▲16.6	▲8.7	0.0	17.4	▲4.8	0.0	13.7	8.3	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

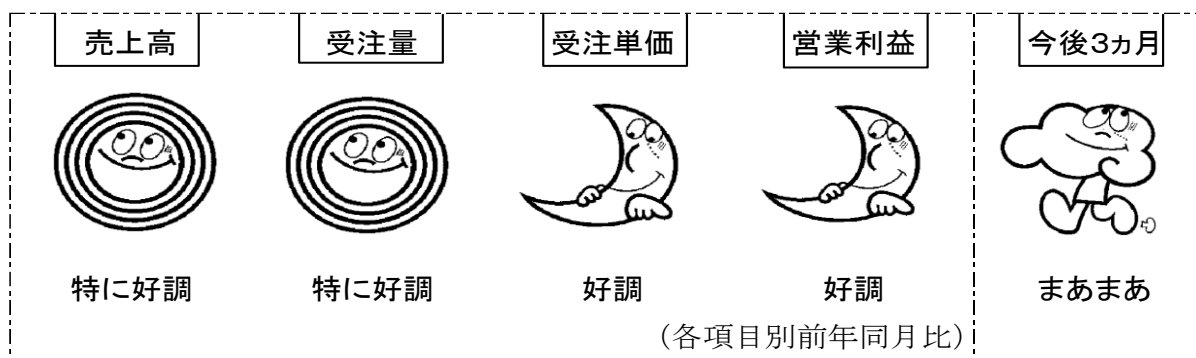
総合小売
洋菓子店

印章・刃物研ぎ
洋菓子店

生鮮食品

- ・8月は幾分かの伸びで着地となった。
- ・8月15日まで人の動きがあったが15日以降は人の動きがなかった。残暑が厳しい。
- ・猛暑は続いているが雨天が少なく商売には助かっている。
- ・夏季は生菓子の販売量が落ちるため売上が上がらないが、今年はずっと焼菓子の需要が高く助かっている。ギフトが多いので、人の動きが活発化しているように感じる。
- ・大勢の人々が動き、松本に来られて大変忙しい日々であった。仕入する個々の物が値上がりしている。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	33.4	20.0	30.8	▲6.6	7.2	23.1	▲23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3
販売客数	20.0	13.3	23.1	0.0	▲7.1	23.1	▲23.1	55.6	25.0	38.4	25.0	23.1	57.2
販売客単価	6.7	▲6.7	7.7	13.3	▲28.6	7.7	▲15.4	0.0	0.0	▲7.7	▲16.7	23.1	28.6
営業利益	▲13.3	▲33.3	▲30.8	▲26.7	▲28.6	▲30.8	▲38.4	▲22.2	▲16.7	0.0	▲16.6	▲7.7	28.6
見通し	▲20.0	6.7	▲7.7	13.3	0.0	0.0	30.8	33.3	25.0	23.1	25.0	0.0	7.2

<経営者の目・見方・etc>

寿司

・6月から始まった暑い夏も終わりを迎えるが、夏に繁忙期を迎える業態においても35度を超えると来客数が減少に転じるなど、今までにない傾向も見られた。今後は少雨の影響も合わせて、青果物の品不足、単価上昇が懸念される。

・例年行われていたイベントや行事がほとんど元の状態に戻ってきた。大勢の集まりも新型コロナウイルス感染症の影響はほとんど感じられず良い状況になってきた。夜の客足も増えてコロナ禍以前に相当近くなった。ただ、物価上昇だけは抑えられない。

料理

・新型コロナウイルス感染症を忘れる人が多くなることを祈っている。今月は旅行客を迎える機会が多かった。

・観光客の増加や地域のイベントが増えた。

食堂

・好天気が続きコロナ禍前の夏シーズンに戻ったかの様に思えたが、お盆過ぎ後半になると静かになった。全体的に人出は増えたように感じた。

・外国人旅行者が目につくようになった。

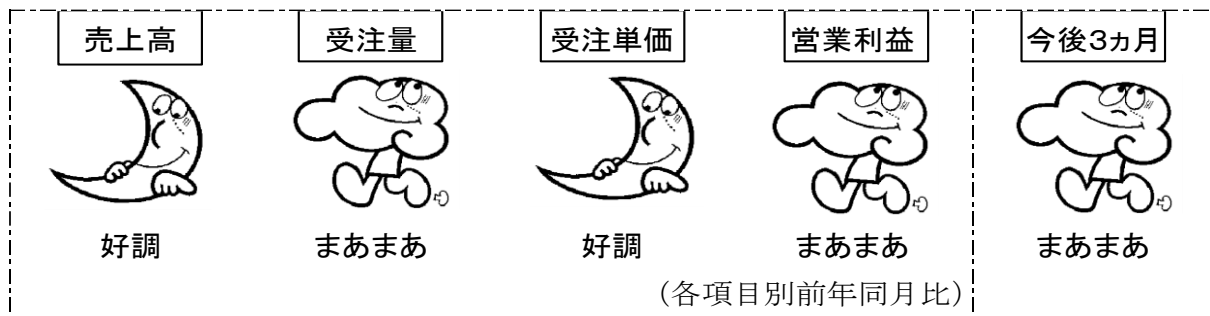
郷土料理

・コロナ禍以前並みとはいかないが、人の出はかなり増加したと思う。

中華料理

・お盆は10日から観光客のお客様で連日満員御礼状態でありたいが、アルバイトの学生達が帰省してしまい人員確保が大変であった。厨房が暑過ぎてホールまで暑かった。クーラーを全開にしているが、電気代が高く困っている。松本ぼんぼんが時間短縮で、踊りも歩行者天国が早く終わったため、お客様の回転、引きも早かった。早く閉店することができてありがたかった。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	7.5	0.0	0.0	▲ 2.7	10.5	▲ 7.9	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0
販売客数	7.5	▲ 2.6	7.5	5.4	▲ 5.2	▲ 7.9	8.3	2.5	28.9	8.1	0.0	11.1	8.3
販売客単価	2.5	5.1	7.5	10.8	5.2	13.2	11.1	10.0	23.7	10.8	5.4	11.1	19.4
営業利益	0.0	▲ 7.7	▲ 5.0	▲ 16.2	▲ 5.2	▲ 13.2	▲ 11.1	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5
見通し	15.0	5.1	2.5	▲ 5.4	▲ 5.2	▲ 5.3	8.3	2.5	15.8	10.8	24.3	13.8	13.9

<経営者の目・見方・etc>

温泉旅館

・全国旅行支援が終わっても夏休みシーズンで旅行需要は高かった。6月7月あたりから電気代が急激に上がったのはかなり厳しい。更に、販売価格に転嫁していかななくてはいけないと考えると頭が痛い。できれば電気代を少しでも補助してもらえるとありがたい。

ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・学生団体客が増加した。 ・新型コロナウイルス感染症直前から現在にかけて、駅周辺の客室数が1000室以上増えている。8月は良いが9月以後が心配である。 ・セイジ・オザワ松本フェスティバルが縮小された。
宿泊 観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・お盆期間に台風という状況で、最終的な集客が伸びず残念だった。 ・お盆に台風が来るという予報があり、登山客はキャンセルになってしまったが、結局何の影響もなかった。それ以外は天候に恵まれまあまあの入込となった。ハイシーズンでもインバウンドの入込は途切れることがなかった。
旅館 ホームクリーニング・ リネンサプライ業 ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ人手不足が続いている。 ・総じて売上は伸びているが、同様に原油、光熱費が売上以上に上昇している。 ・都内の大手企業同士によるクラウド上に展開されるAPI連携が進んでいる。県内IT企業による受注提案、元請けにはいたっていないが、今後は県内の中小企業でも連携の動きは進むと思われ、経験を積んでいきたい。
リラクゼーション 獣医	<ul style="list-style-type: none"> ・猛暑や新型コロナウイルス感染症の影響で、来客数が少なく感じた。 ・真夏日が史上最大の夏であったが、室内飼いのため昔より犬の熱中症がなくなってきた。飼い主も動物がコンパニオンアニマルとしてより認識されるようになってきた。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・お盆期間中ホテルの利用が多かったが、台風の影響でキャンセルも若干あった。今後もホテルの利用が増える予想である。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地での営業台数が多く、その分市街地での営業台数が少ないため配車依頼に応じられない場合がある。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・購入部品の納期が大分改善されてきているが、まだ一部の部品は時間が掛かっている。

